

□ 平成25年度 ふじのくにの“みちづくり”

■ 基本理念

東海道新時代を拓くふじのくにの“みちづくり”

■ 3つの基本目標

命と暮らしを守る

県民一人ひとりの命と暮らしを守るふじのくにの“みちづくり”  
 ①災害に強く信頼性の高いみちづくり  
 ②安全な生活を実現するみちづくり

地域の自立の実現

快適にヒトやモノが行き交い、地域の自立を進めるふじのくにの“みちづくり”  
 ③多様な交流や経済活動を支えるみちづくり  
 ④地域の生活と自立を支援するみちづくり

豊かさの実現

暮らしの質を向上させるふじのくにの“みちづくり”  
 ⑤美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり

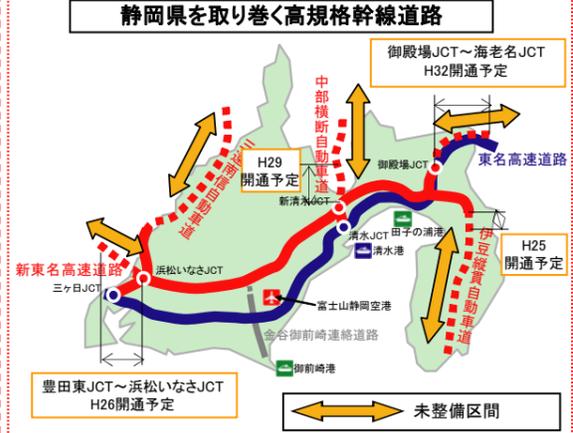
命と暮らしを守る ～県民一人ひとりの命と暮らしを守るふじのくにの“みちづくり”～

①災害に強く信頼性の高いみちづくり

平成25年度事業費 C=9,248百万円

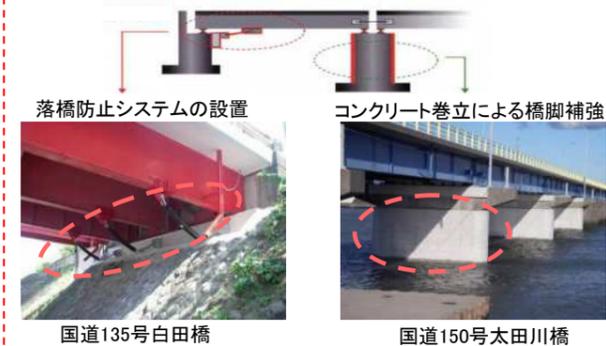
●高規格幹線道路の整備促進(未整備区間の解消)

災害時に円滑かつ迅速な応急活動を支援し、救急医療環境の改善に大きく寄与する、まさに「命の道」となる高規格幹線道路の整備を促進します。



●地震に備えた橋梁の耐震対策

巨大地震の発生に備え、優先度の高い橋梁の耐震対策を実施します。



●道路路面等の防災対策

異常気象時の事前通行規制区間内における道路路面等の防災対策を実施します。



②安全な生活を実現するみちづくり

平成25年度事業費 C=12,131百万円

●通学路等の歩道整備

歩行者の安全な通行を確保するため、歩道の整備などを実施します。



●道路施設の長寿命化

適切な維持更新により橋梁等の道路施設の長寿命化を推進します。



地域の自立と実現

～快適にヒトやモノが行き交い、地域の自立を進めるふじのくにの“みちづくり”～

③多様な交流や経済活動を支えるみちづくり

平成25年度事業費 C=7,352百万円

●高規格幹線道路のアクセス道路等の幹線道路の整備

ネットワーク拡大のため、高規格幹線道路やアクセス道路等を整備します。

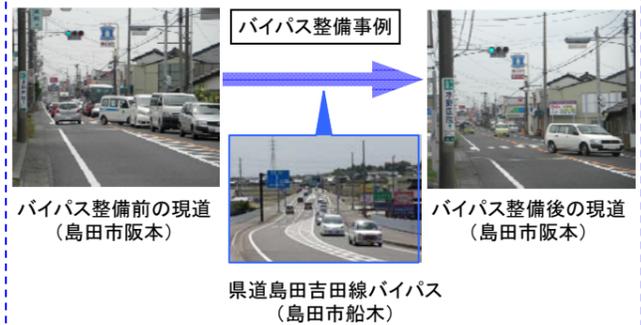


④地域の生活と自立を支援するみちづくり

平成25年度事業費 C=8,648百万円

●主要な渋滞箇所における渋滞対策

交通の円滑化を目指して、バイパスの整備や4車線化などの渋滞対策を実施します。



●すれ違い困難箇所の解消

中山間地のすれ違い困難な狭隘箇所、拡幅等を実施します。



豊かさの実現

～暮らしの質を向上させるふじのくにの“みちづくり”～

⑤美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり

平成25年度事業費 C=3,733百万円

●周辺と調和した道路施設の色彩選定、道路案内標識等の整備等

周辺と調和した道路施設の色彩選定、わかりやすい道路案内標識等の整備等を推進します。



●世界文化遺産である富士山のマイカー規制

登山道区間の渋滞を解消し、地球環境への負担軽減を目指します。



## □ 道路関係の予算状況について

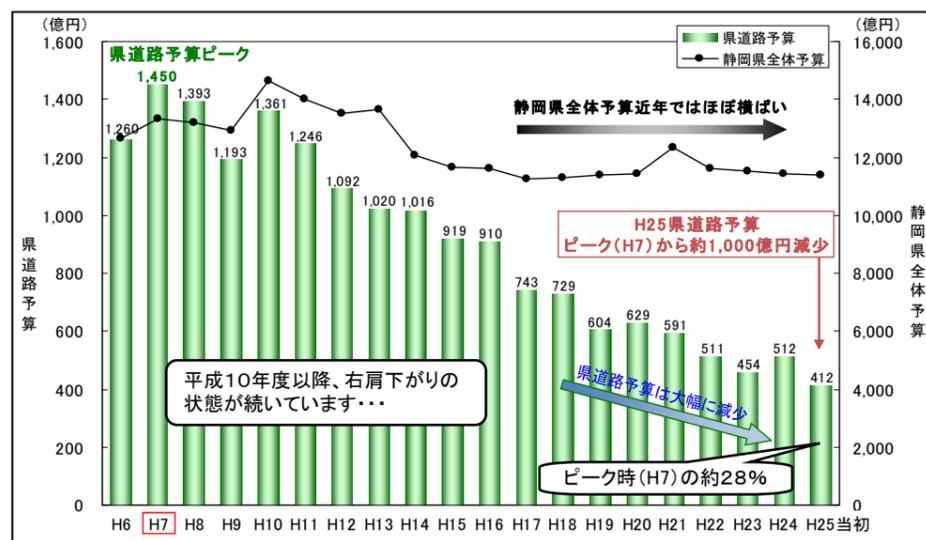
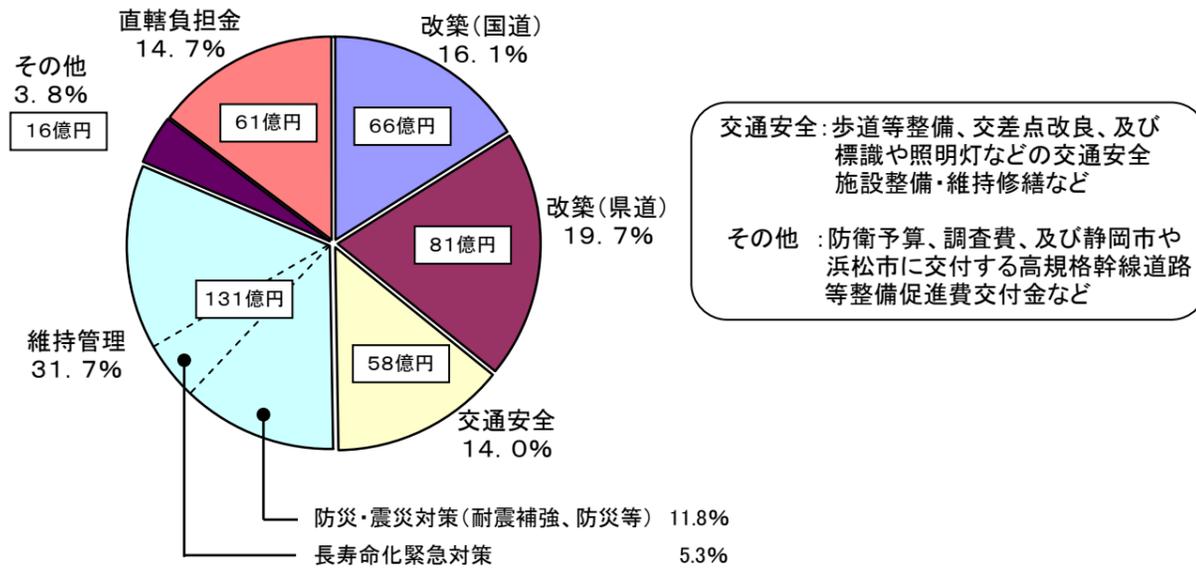
静岡県は道路関係予算は、平成10年度以降、右肩下りの状況が続いています。平成25年度予算も、対前年度比0.98の縮減となっており、より効率的な道路整備を推進していきます。

(単位:百万円)

区分/事業名	平成24年度当初	平成25年度当初	(対前年度比)	備考
補助	925	829	(0.90)	防衛予算含む
交付金(社会資本・地域自主)	18,835	19,578	(1.04)	
県単独費	16,293	14,721	(0.90)	
うち維持管理費	5,376	5,475	(1.02)	
直轄負担金	6,185	6,077	(0.98)	
計	42,238	41,204	(0.98)	

※平成24年度は補正予算等により約90億円年度途中に増額している。

### 平成25年度予算の内訳



## 平成25年度 静岡県の道路事業概要



いっしょに、未来の地域づくり  
New Public Engineering for SHIZUOKA

平成25年7月  
静岡県交通基盤部道路局



編集・発行  
静岡県交通基盤部道路局道路企画課  
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号  
電話:054-221-3014 FAX:054-221-3565